

國學院大學學術情報リポジトリ

戦国期における神社の動向：九州地方を中心に

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 永田, 忠靖, Nagata, Tadayasu メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00002477

(附三) 中世後期～近世における一宮造営・修復

(1370)	住吉神社(長門)	応安3年、大内弘世による社殿修復	
(1394～1428)	大山祇神社	応永年間、本殿・拝殿の造営	
(1419)	若狭彦神社	応永26年、守護一色義範による社殿造営	
(1435)	鹿島社	永享7年、遷宮	
(1440)	上津八幡宮	永享12年、宗貞盛による宝殿再興	
(1445)	出雲神社	文安2年、社殿修理	
(1445)	住吉神社(筑前)	文安2年、大内氏による再興	
(1460)	田村神社	長祿4年、細川勝元による社殿造営	
(1469～87)	吉備津彦神社	文明年間、松田元隆による修復	
(1472)	阿蘇社	文明4年、社殿造営	
(1477)	枚岡神社	文明9年、氏子による造営	
(1477)	河上社	文明9年、勸進僧の協力により造営	
(1480)	建部神社	文明12年、勅命により社殿再建	戦火烧亡(応仁の乱)
(1503)	安房神社	文亀3年、里見義成による本殿・瑞垣造営	地震倒壊(1499)
(1508)	二荒山神社(宇都宮)	永正5年、社殿修理	
(1516)	砥鹿神社	永正13年、社殿造営	
(1519)	杵築大社	永正16年、尼子経久による假殿式造営	
(1521)	水無神社	永正18年、神主藤原民部少輔政治の勸進による造営	
(1522)	寒川神社	大永2年、北条氏綱社殿再興	
(1524)	出石神社	大永4年、民衆の援助による再建	戦火烧亡(1504)
(1526)	三嶋神社	大永6年、北条氏綱は造営のための諸国勸進を許可	火事(1524)
(1526)	宇部神社	大永6年、社殿再建の論旨	
(1527)	鹿島社	大永7年、遷宮	
(1531～)	高良社	天文初期、造営のため大友義鑑による武家領及び寺社領への課役	
(1536)	安房神社	天文5年、里見義弘による造営	
(1538)	二荒山神社(宇都宮)	天文7年、社殿修理	
(1538)	若狭彦神社	天文7年、守護武田信豊による造営	
(1539)	住吉神社(長門)	天文8年、毛利元就による拝殿などの造営	
(1543)	日前国懸社	天文12年、神領により再建	戦火烧亡(1533)
(1546)	寒川神社	天文15年、北条氏康宝殿再興	
(1546)	菅前宮	天文15年、大内義隆により本殿・拝殿造営	
(1548)	宇佐社	天文17年頃、大内義隆による社殿造営	
(1549)	都農神社	天文18年、伊東義祐による社殿造営	
(1550)	物部神社	天文19年、吉川元春による本殿と拝殿の造営	
(1554)	倭文神社	天文23年、尼子晴久により社殿造営	戦火烧亡(大永年間)
(1556)	賀茂別雷神社	弘治2年、社殿造営	
(1556)	巖島神社	弘治2年、毛利氏による回廊床張替	
(1557)	出雲神社	弘治3年、諸層の奉加により社殿造営	
(1557)	出雲神社	弘治3年、社殿修理	
(1557)	巖島神社	弘治3年、毛利氏による反橋再建	
(1558～70)	気多神社(越中)	永祿年間、本殿再建	戦火烧亡(天文年間)
(1558～70)	河上社	永祿年間、龍造寺氏による造営	
(1559)	中山神社	永祿2年、尼子晴久による再建	
(1560)	大隅正八幡宮	永祿3年、社殿造営	戦火烧亡(1527)
(1561)	巖島神社	永祿4年、毛利氏による大鳥居再建	
(1562)	気多神宮(能登)	永祿5年、正親町天皇の論旨を得て守護畠山義綱を願主とした造営	
(1564)	二荒山神社(日光)	永祿7年、櫻本坊宗安による社殿再建	戦火烧亡(1562)
(1565)	吉備津神社(備後)	永祿8年前後、毛利元就による社殿造営	
(1566)	諏訪社	永祿9年、武田氏による造営	
(1567)	貫前神社	永祿10年、武田信玄により造替	
(1567)	土佐神社	永祿10年、四国平定祈願として長宗我部元親による社殿再建	戦火烧亡(1563) 平定祈願
(1568)	出石神社	永祿11年、山名氏による本社再建	
(1569)	気多神宮(能登)	永祿12年、畠山義綱による撰社などの造営	
(1570)	倭文神社	元亀元年、南條宗勝による社殿修理	
(1571)	巖島神社	元亀2年、毛利氏による本殿等の造営	
(1573～92)	都都古和気神社(馬場)	天正年間、白河城主関義親による造営	
(1572)	諏訪社	元亀元年、武田氏による造営	
(1574)	二荒山神社(宇都宮)	天正2年、社殿修理	

(1575)	小国神社	天正3年、徳川家康により再興	戦火烧亡(1572)
(1576)	砥鹿神社	天正4年、本宮仮殿造営	
(1577~78)	由原八幡宮	天正5~6年、大友氏による造営	
(1578~89)	吉備津神社(備中)	天正6~17年における27枚の回廊造営の棟札	火事(天正初期)
(1578)	諏訪社	天正6年、武田氏による造営	
(1578)	浅間神社(駿河)	天正6年、武田勝頼による造営	
(1578)	寒川神社	天正6年、社僧等による修造	
(1579)	鹿島社	天正7年、遷宮	
(1580)	杵築大社	天正8年、毛利輝元による假殿式・鳥居造営	
(1581)	塩釜神社	天正9、留守政景(伊達晴宗三男)による造営	
(1582)	物部神社	天正15年、毛利輝元が社殿造営に尽力	
(1583)	千栗八幡宮	天正11年、龍造寺政家により再建	戦火烧亡(1534)
(1584)	気多神宮(能登)	天正12年、前田利家は造営のための奉加を肝煎・百姓らに命ずる	
(1584)	出雲神社	天正12年、社殿修理	
(1585)	砥鹿神社	天正13年、本殿造営	
(1587)	日前国懸社	天正15年、羽柴秀長による仮殿造営	戦火烧亡(1585)
(1589)	塩釜神社	天正17年、留守政景(伊達晴宗三男)による造営	
(1591)	賀茂別雷神社	天正19年、社殿造営	
(1591)	宇佐社	天正19年、黒田氏による社殿造営	戦火烧亡(1581)
(1592~1615)	安房神社	文禄~慶長年間、里見氏により社殿修復	
(1592)	千栗八幡宮	天正20年、鍋島直茂により再建	戦火烧亡(1585)
(1594)	宮前宮	文禄3年、小早川隆景により楼門造営	
(1595)	都都古和気神社(馬場)	文禄3年、佐竹義宣による社殿造営	
(1596)	氷川神社	文禄5年、徳川氏は伊奈忠次を奉行として社殿造営	
(1596)	白山比咩神社	慶長元年、前田利家による本宮本殿の造営	
(1601~02)	新田宮	慶長6~7年、島津義久による社殿造営	
(1601)	伊雑宮	慶長6年、磯部七郷の郷民により仮殿遷宮	遷宮
(1601)	吉備津彦神社	慶長6年、小早川秀秋による本殿再興	戦火烧亡(永禄年間)
(1601)	大隅正八幡宮	慶長6年、社殿造営	
(1602)	大鳥神社	慶長7年、豊臣秀頼による再興	戦火烧亡 (永禄・天正期)
(1604)	浅間神社(駿河)	慶長9年、家康による社殿再建	戦火烧亡(1582)
(1604)	大鳥神社	慶長9~11年、徳川家康による修復	武運長久祈願
(1604)	気比神宮	慶長9年、福井藩主結城秀康により社殿再建	戦火烧亡(1570)
(1604)	砥鹿神社	慶長9年、本殿造営	
(1604)	鹿島社	慶長9年、家康により奥宮造営	
(1605~27)	宇佐社	慶長10年~寛永4年、細川氏による大規模な社殿造営	
(1605)	枚岡神社	慶長10年、豊臣秀頼による再建	戦火烧亡(1574)
(1605)	二荒山神社(宇都宮)	慶長10年、家康の命により社殿改造	
(1606)	住吉神社(摂津)	慶長11年、豊臣秀頼により再興	戦火烧亡(1576)
(1607)	浅間神社(甲斐)	慶長12年、幕府による大規模な社殿造営	
(1607)	香取社	慶長12年、江戸幕府による大造営	
(1607)	水無神社	慶長12年、高山藩主金森長近による拝殿の造営	戦火烧亡(1585)
(1607)	塩釜神社	慶長12年、伊達政宗による大造営	
(1608)	河上社	慶長13年、鍋島勝重による鳥居造営	戦火烧亡(1570)
(1609)	敢国神社	慶長14年、藤堂高虎による再建	戦火烧亡(1581)
(1609)	杵築大社	慶長14年、豊臣秀頼により假殿式造営	
(1609)	宮前宮	慶長14年、黒田長政により舞台と石鳥居の造営	
(1610)	枚聞神社	慶長15年、島津氏により社殿再興	
(1611)	南宮社	慶長16年、竹中・徳永氏により仮社殿造営	戦火烧亡(1600)
(1612)	吉備津神社(備中)	慶長17年、安原備中守が願主となって御釜殿を再建	
(1613)	玉祖神社	慶長14年、毛利輝元により社殿再興	火事(1598)
(1615)	都農神社	元和元年、高鍋藩主秋月種春による社殿再興	戦火烧亡(1578)
(1618)	住吉神社(摂津)	元和4年、遷宮	遷宮
(1619)	二荒山神社(日光)	元和5年、幕府により新宮本殿造営	
(1620)	鹿島社	元和5年、徳川秀忠により本殿・拝殿造営	
(1623~)	倭文神社	寛永初期、社殿造営	
(1623)	住吉神社(筑前)	元和9年、黒田長政による社殿再建	
(1627)	日前国懸社	寛永4年、徳川頼宣による社殿再興	
(1628)	賀茂別雷神社	寛永5年、江戸幕府により古式に則り造営	
(1628)	賀茂御祖神社	寛永5年、江戸幕府により古式に則り造営	
(1631)	真清田神社	寛永8年、徳川義直による重葺造替	
(1631)	土佐神社	寛永8年、土佐藩主山内忠義による楼門の造営	

(1634)	鹿島社	寛永11年、徳川頼房による楼門・回廊などの造営	
(1635)	貫前神社	寛永12年、徳川家光による社殿造営	
(1637)	椿大神社	寛永14年、本田俊次による社殿造営	戦火焼亡(1583)
(1638)	伊雑宮	寛永15年、磯部七郷の郷民により仮殿遷宮	遷宮
(1639)	宇佐社	寛永16年、松平重直による鳥居再建	
(1642)	南宮社	寛永19年、幕府により社殿造営	
(1645)	敢国神社	正保2年、藤堂高次による鳥居造立	
(1648)	吉備津神社(備後)	慶安元年、福山藩主水野勝成による本殿造営	
(1654)	気多神社(越中)	正保2年、前田利常により本社・拝殿・三社の御輿建立	
(1654)	高良社	承応3年、有馬忠頼による大鳥居造営	
(1655)	住吉神社(摂津)	明暦元年、遷宮	遷宮
(1655)	田村神社	明暦元年、藩主松平頼重による社殿再興	地震倒壊(1596)
(1660)	高良社	万治3年、有馬頼利による社殿造営	
(1664)	大神神社	寛文4年、徳川家綱により拝殿造営	
(1666)	白山比咩神社	寛文6年、造営奉加のための霊元天皇の綸旨	
(1667)	氷川神社	寛文7年、阿部豊後守を奉行として社殿造営	
(1667)	杵築大社	寛文7年、松江藩主松平氏による正殿式造営	
(1670)	水無神社	寛文10年、藩主金森頼直による本殿造営	
(1683)	天手長男神社	元禄元年、松浦鎮信により宝殿・拝殿造営	
(1685)	二荒山神社(日光)	貞享2年、幕府により本宮社殿造営	
(1687)	玉前神社	貞享4年、本殿造営	
(1692)	都農神社	元禄5年、秋月種政による再興	
(1697)	小国神社	元禄10年、徳川綱吉により社殿改築	
(1697)	寒川神社	元禄10年、近郷の奉加による造営	
(1697)	吉備津彦神社	元禄10年、池田綱政による本殿改築	
(1698)	貫前神社	元禄11年、徳川綱吉による社殿修理	
(1700)	香取社	元禄13年、徳川綱吉による本殿・楼門などの造営	
(1703)	弥彦神社	元禄16年、江戸幕府により社殿造営	
(1709)	度津神社	宝永6年、本殿造営	
(1710)	玉前神社	宝永7年、神楽殿造営	
(1724)	建部神社	享保9年、本殿・拝殿造営	
(1724)	天手長男神社	享保9年、松浦篤信による宝殿再建	
(1736~41)	都農神社	元文年間、改築	
(1741)	寒川神社	寛保元年、近郷の奉加による造営	
(1742)	小国神社	寛保2年、社殿修理ための勸進を幕府許可	
(1742)	宇佐社	寛保2年、幕府・諸藩・庶民などの寄付による社殿造営	
(1746)	物部神社	延享3年、大岡越前守は幕命として近隣諸国に再建に対し寄付を募る	
(1753)	弥彦神社	宝暦3年、拝殿のみ再建	
(1755)	千栗八幡宮	宝暦5年、社殿造営	
(1756)	大隅正八幡宮	宝暦6年、社殿造営	
(1758)	住吉神社(摂津)	宝暦8年、遷宮	遷宮
(1770)	出石神社	明和7年、本殿を諸国勸進により造営	
(1774)	出石神社	安永3年、社殿を諸国勸進により造営	
(1787)	枚聞神社	天明7年、社殿改修	
(1795)	水若酢神社	寛政7年、本殿造営	
(1810)	住吉神社(摂津)	文化7年、遷宮	遷宮
(1813)	若狭彦神社	文化10年、社殿造営	
(1826)	枚岡神社	文政9年、氏子の浄財による社殿造営	
(1827)	度津神社	文政10年、拝殿造営	
(1845)	籠神社	弘化2年、本殿造営	
(1846)	阿蘇社	弘化3年、社殿造営	
(1850)	新田宮	嘉永3年、島津斉興による改築	
(1854~60)	都農神社	安政年間、改築	
(1858)	伊和社	安政5年、幣殿などは播磨国民衆の浄財により再建	火事(1852)
(1862)	伊和社	文久2年、安志藩主小笠原貞享による本殿再建	

※(附一)中世後期～近世における一宮の動向を基に作成